

# 制度変える「使命」、政治の道へ

## DV、虐待 目の当たりに

### ■スウェーデンで学んだ、本当の「福祉」

1995年、社会学者として研究で滞在したスウェーデンでの体験が、政治を志す原点となりました。スウェーデンは1932年から「国民の家」建設という国家ビジョンを掲げ、「格差なき経済成長」を実現しています。女性、障がい者、外国人など社会的に弱い立場にある人が、様々な働き方で社会に貢献できる環境が整えられていることに新鮮な驚きを感じました。

### ■立場の弱い方々を守る、支援団体を設立

一方で日本では、子どもや女性に対する暴力が絶えず、大きな社会問題でした。さらに、そうした被害者は今よりも逃げ場がなく、助けや相談を求めることも困難な状況でした。スウェーデンから帰国翌年の1997年、外国籍を持つ女性やDV被害者を支援する団体「アジア女性センター」を福岡で設立しました。志を同じくする友人たちと多くの子どもや女性の支援に取り組んできました。また、男女が平等の社会参画を目指した「福岡ジェンダー研究所」も設立。企業への研修や調査研究事業も行ってきました。

## すべての人に安心を



## 「SOS」から目を背けない

### ■福岡県議として3期目

活動を重ねる中、生きていくのが困難な立場にある人を数多く目にし、まだまだ社会の支援体制や制度が不十分であることを痛感し、政治への道を志しました。政治への初挑戦となった2010年の参院選では福岡県の皆様に176,149票ものご支持を頂き、翌11年には県議選で初当選。県議としては、児童虐待・DVの根絶、ジェンダー平等、教育、環境などについて県に提言し、施策実現に努力してきました。全国初の「性暴力根絶条例」の制定に携わるなど、多くの方々のご支援・ご協力を頂きながら、一定の成果をあげることができたのではないかと自負しております。

## 国政に挑戦します！

私、堤かなめは弱い立場の人が追い込まれる社会を変えたいと、政治の世界に飛び込み、女性をDVから守り、子どもを虐待から救うことに人生をかけて取り組み続けてきました。

しかし、コロナ禍のなか、ますます格差が広がり、社会から取り残される人たちは増えているのが現状です。

その現状を変えるには、政治を変えるしかありません。今回、「すべての人が安心できる社会」を目指すため、国政に挑戦することを決意しました。皆様のご支援が何よりの力になります。力の限り頑張りますので、何卒よろしくお願いいたします。

堤かなめ